

定 款

社会福祉法人 成光苑

<目 次>

第 1 章 総 則	(第 1 条～第 4 条)	1
第 2 章 評議員	(第 5 条～第 9 条)	2
第 3 章 評議員会	(第 10 条～第 16 条)	3
第 4 章 役員及び会計監査人並びに職員	(第 17 条～第 26 条)	4
第 5 章 理事会	(第 27 条～第 32 条)	6
第 6 章 資産及び会計	(第 33 条～第 41 条)	7
第 7 章 公益を目的とする事業	(第 42 条)	9
第 8 章 解 散	(第 43 条・第 44 条)	9
第 9 章 定款の変更	(第 45 条)	10
第 10 章 公告の方法等	(第 46 条・第 47 条)	10

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第1種社会福祉事業
 - (イ) 特別養護老人ホームの経営
 - (ロ) 軽費老人ホーム ケアハウスの経営
- (2) 第2種社会福祉事業
 - (イ) 保育所の経営
 - (ロ) 幼保連携型認定こども園の経営
 - (ハ) 小規模保育事業の経営
 - (ニ) 地域子育て支援拠点事業の経営
 - (ホ) 一時預かり事業の経営
 - (ヘ) 老人デイサービス事業の経営
 - (ト) 老人短期入所事業の経営
 - (チ) 老人介護支援センターの経営
 - (リ) 老人居宅介護等事業の経営
 - (ヌ) 老人福祉センター事業の経営
 - (ル) 老人デイサービスセンターの経営
 - (ヲ) 障害福祉サービス事業の経営
 - (ワ) 障害児通所支援事業の経営
 - (カ) 障害児相談支援事業の経営
 - (ヨ) 生計困難者に対する支援相談事業の経営
 - (タ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営
 - (レ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人成光苑という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を大阪府摂津市千里丘三丁目16番7号に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名が出席し、かつ、当該外部委員が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係がある者(租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。)の合計数が、評議員総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることにはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、各年度の総額が50万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 事業計画及び収支予算
- (5) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (6) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (7) 定款の変更
- (8) 残余財産の処分
- (9) 基本財産の処分
- (10) 公益事業に関する重要な事項
- (11) 社会福祉充実計画の承認
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第14条 評議員会に議長を置き、議長はその都度評議員の互選で選任する。

(決議)

第15条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第17条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第16条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第4章 役員及び会計監査人並びに職員

（役員及び会計監査人の定数）

第17条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
- (2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を業務執行理事とする。

4 この法人に会計監査人を置く。

（役員及び会計監査人の選任）

第18条 理事及び監事並びに会計監査人は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（役員の資格）

第19条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか1名及びその親族その他特殊の関係のある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親

族その他特殊の関係のある者を含む。)及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

- 第20条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
 - 3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第21条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(会計監査人の職務及び権限)

- 第22条 会計監査人は、法令で定めるところにより、この法人の計算書類(貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書)並びにこれらの附属明細書及び財産目録を監査し、会計監査報告を作成する。
- 2 会計監査人は、いつでも、次に掲げるものの閲覧及び謄写をし、又は理事及び職員に対し、会計に関する報告を求めることができる。
 - (1) 会計帳簿又はこれに関する資料が書面をもって作成されているときは、当該書面
 - (2) 会計帳簿又はこれに関する資料が電磁的記録をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を法令で定める方法により表示したもの

(役員及び会計監査人の任期)

- 第23条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。
 - 3 理事又は監事は、第17条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
 - 4 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、その定時評議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

(役員及び会計監査人の解任)

第24条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

2 会計監査人が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき。
- (3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

3 監事は、会計監査人が、前項各号のいずれかに該当するときは、監事全員の同意により、会計監査人を解任することができる。この場合、監事は、解任した旨及び解任の理由を、解任後最初に招集される評議員会に報告するものとする。

(役員及び会計監査人の報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て、理事会において定める。

(職員)

第26条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第27条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第29条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第30条 理事会に議長を置き、理事長がこれにあたる。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、理事の互選で選任する。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の区分)

第33条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産及び公益事業用財産の3種とする。

2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。

3 その他財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第42条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第34条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、大阪府知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、大阪府知事の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担

保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第35条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。
- 3 前項の規定にかかわらず、基本財産以外の資産の現金の場合については、理事会の議決を経て、株式に換えて保管することができる。

（事業計画及び収支予算）

第36条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、かつ、第3号から第6号までの書類について会計監査人の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に報告するものとする。ただし、社会福祉法施行規則第2条の39に定める要件に該当しない場合には、第1号の書類を除き、定時評議員会への報告に代えて、定時評議員会の承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 会計監査報告
- (3) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (4) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (5) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第38条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第39条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第40条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第41条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数（現在数）の3分の2以上の承認を要する。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第42条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ、自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 訪問看護事業
- (2) 居宅介護支援事業
- (3) 高齢者優良賃貸住宅事業
- (4) サービス付き高齢者向け住宅の経営
- (5) 地域包括支援センター事業
- (6) 介護予防支援事業
- (7) 介護員養成研修事業

2 前項の事業に関する重要な事項については、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

第8章 解散

(解散)

第43条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

（残余財産の帰属）

第44条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

（定款の変更）

第45条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、大阪府知事の認可（社会福祉法第45条の3第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を大阪府知事に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

（公告の方法）

第46条 この法人の公告は、社会福祉法人成光苑の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

（施行細則）

第47条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	高岡	國士
理事	水尾	頼
理事	高岡	ひさる
理事	草野	シヅエ
理事	石橋	幸路
理事	小池	昭三
監事	原	利夫
監事	奥田	至宏

附則 この規程は、平成29年 4月 1日から施行する。

附則 この規程は、平成30年 8月29日から施行する。

附則 この規程は、平成31年 1月24日から施行する。

附則 この規程は、平成31年 4月23日から施行する。

基本財産明細(定款第33条第2項関係)

No.	拠点名・建物名	地番・家屋番号	地目	地積
1	第二愛育園	吹田市長野東2059番1	宅地	422.82 m ²
2	第二愛育園	吹田市長野東2059番8	宅地	99.71 m ²
3	きりん夜間愛育園	吹田市長野東2059番2	宅地	321.34 m ²
4	第二愛育園	吹田市長野東2059番9	宅地	213.60 m ²
5	第二愛育園うさぎ園	吹田市千里丘下2291番7	宅地	243.70 m ²
6	くるみ愛育園	大阪市生野区小路東2丁目16番9	宅地	146.80 m ²
7	くるみ愛育園	大阪市生野区小路東2丁目16番11	公共用道路	21.00 m ²
8	くるみ愛育園	大阪市生野区小路東二丁目16番10	宅地	50.30 m ²
9	くるみ愛育園	大阪市生野区小路東二丁目16番12	公共用道路	7.34 m ²
10	岩戸ホーム	福知山市猪野々小字後岬31番1	宅地	5711.01 m ²
11	岩戸ホーム	福知山市宮垣小字后島27番	宅地	896.83 m ²
12	岩戸ホーム	福知山市宮垣小字后島26番1	宅地	1121.27 m ²
13	岩戸ホームケアハウス	福知山市字猪野々小字後岬30番2	山林	3903.00 m ²
14	岩戸ホームケアハウス	福知山市字猪野々小字後岬30番1	山林	7907.00 m ²
15	サンヒルズ紫豊館	福知山市榎原小字平180番2	宅地	8066.21 m ²
16	サンヒルズ紫豊館	福知山市榎原小字平3714番2	宅地	377.05 m ²
17	厚デイスタービスセンター	福知山市厚東町74番1	宅地	500.01 m ²
18	せつ桜苑	摂津市桜町一丁目13番1	宅地	2496.28 m ²
19	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目734番	宅地	1564.30 m ²
20	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目735番	宅地	1054.87 m ²
21	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目736番1	宅地	464.28 m ²
22	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目737番1	宅地	557.22 m ²
23	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目738番1	宅地	588.05 m ²
24	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目1番8	宅地	0.09 m ²
25	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目1番9	宅地	1.00 m ²
26	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目1番18	宅地	305.40 m ²
27	素みのりの郷	高槻市寿町三丁目2051番12	宅地	159.80 m ²
28	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷228番3	山林	33.00 m ²
29	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷228番4	山林	168.00 m ²
30	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷229番	山林	33.00 m ²
31	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字ト城118番	宅地	26.44 m ²
32	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字深田1088番1	宅地	251.23 m ²
33	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字深田1087番	宅地	69.42 m ²
34	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字深田1086番1	宅地	204.95 m ²
35	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷231番1	宅地	46.00 m ²
36	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷231番2	雑種地	991.00 m ²
37	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字ト城119番1	山林	99.17 m ²
38	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字ト城119番2	宅地	742.40 m ²
39	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字ト城118番1	雑種地	45.00 m ²
40	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字ト城118番2	雑種地	26.00 m ²
41	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市字桑飼上小字宇谷230番	山林	66.00 m ²
42	ライフ・ステージ舞夢事務所	舞鶴市字桑飼上小字宇谷228番1	宅地	793.38 m ²
43	デイ・ホーム和夢	舞鶴市字下福井小字大野辺928番3	雑種地	393.00 m ²
44	ココリス	摂津市一津屋一丁目382番2	宅地	218.18 m ²
45	ココリス	摂津市一津屋一丁目382番3	宅地	361.63 m ²

【土地】

【建物】 No.	建物名	家屋番号・構造等	床面積
1	千里丘愛育園	摂津市千里丘3丁目123番地1、121番地2、所在の鉄骨造合金メッキ鋼板葺陸屋根四階建 千里丘愛育園 園舎一棟	1188.88 m ²
2	第二愛育園	吹田市長野東2059番地9、2059番地1、2059番地10所在の鉄骨造陸屋根三階建 第二愛育園 園舎一棟	752.98 m ²
3	第二愛育園 別棟	吹田市長野東2060番2 所在の軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 保育園	241.78 m ²
4	第二愛育園うさぎ園	吹田市千里丘下2291番地7 所在の鉄骨造かわらぶき2階建1階 保育園	111.23 m ²
5	くのみ愛育園	大阪市生野区小鷺東2丁目16番地9-1、2所在の鉄骨造陸屋根四階建くのみ愛育園 園舎 一棟	317.10 m ²
6	きりん夜間愛育園	吹田市長野東2059番地2、同番地1、同番地7 所在の 鉄骨造陸屋根・合金メッキ鋼板葺三階建 きりん夜間愛育園 園舎 一棟	623.91 m ²
7	東生野愛育園	大阪市生野区新今里7丁目141番の2 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 保育園	458.53 m ²
8	正雀愛育園	摂津市正雀4丁目1566番地4 所在の鉄骨造陸屋根3階建 正雀愛育園 園舎一棟(1075.26m ²) 附属建物 鉄骨・鉄筋コンクリート造ガラスぶき平家建 屋内プール・便所(126.03m ²)	1201.29 m ²
9	一津屋愛育園	摂津市一津屋1丁目378番地7、379番地2、380番地3 所在の 鉄骨造陸屋根三階建 一津屋愛育園 園舎一棟(906.13m ²) 附属建物 鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 倉庫(6.00m ²)	912.13 m ²
10	岩戸ホームケムアハウス	福知山市宇猪野々小字後岬31番地1、30番地2 所在の鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき・陸屋根3階建 老人ホーム	2248.70 m ²
11	岩戸ホームデイスサービス	福知山市宇宮垣小字后島26番地、27番地、福知山市宇猪野々小字後岬31番地1、福知山市鳴野町32番地 所在の 鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 デイスサービスセンター 岩戸ホーム 一棟	509.96 m ²
12	岩戸ホーム特養	福知山市宇猪野々小字後岬31番地1、562番地、563番地 福知山市宇宮垣小字后島27番地・26番地4 所在の鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 特別養護老人ホーム 岩戸ホーム	4573.80 m ²
13	サンヒルズ紫豊館	福知山市宇塚原小字平180番地2 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根フッソ樹脂鋼板葺二階建 特別養護老人ホーム サンヒルズ紫豊館 一棟	3827.62 m ²
14	厚デイスサービスセンター	福知山市厚東町74番地1 所在の 鉄骨造陸屋根二階建 厚デイスサービスセンター 一棟	405.81 m ²
15	ライフ・ステージ舞夢	舞鶴市宇桑畑上小字深田1088番地1、1086番地1、1087番地、1087番地、1087番地1 舞鶴市宇桑畑上小字宇谷228番地1、229番地 所在の鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき3階建 特別養護老人ホーム ライフ・ステージ舞夢 一棟(2439.25m ²)	2439.25 m ²
16	ライフ・ステージ舞夢事務所	舞鶴市宇桑畑上小字宇谷228番地1所在の鉄骨造陸屋根2階建 事務所(307.50m ²) 附属建物 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 倉庫(111.92m ²)	419.42 m ²
17	デイ・ホーム和夢	舞鶴市宇下福井小字大野辺928番地3 所在の鉄筋コンクリート・木造瓦葺地下1階付2階建 デイスサービスセンター 一棟	302.02 m ²
18	せつ桜苑	摂津市桜町一丁目13番地1 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根地下2階付4階建 老人福祉施設 一棟	4872.91 m ²
19	高槻けやきの郷	高槻市番田1丁目735番地、734番地、736番地1、737番地1、738番地1 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根五階建 特別養護老人ホーム 高槻けやきの郷 一棟(6326.32m ²) 附属建物 物置 コンクリートブロック造陸屋根平家建 一棟(9.00m ²)	6335.32 m ²
20	寿みのりの郷	高槻市寿町三丁目2051番地12 所在の木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 デイスサービスセンター 寿みのりの郷 一棟	129.86 m ²
21	吹田竜ヶ池ホーム	吹田市原町三丁目2617番地59所在の鉄筋コンクリート造3階建 老人ホーム(4455.44m ²) 附属建物 集塵庫 鉄筋コンクリート造 1階部分(1.52m ²)	4456.96 m ² (74.85%被分)
22	ココリス	摂津市一津屋一丁目382番地3、382番地2 所在の鉄骨造スレート葺2階建 障雪施設	302.78 m ²